

2024年度 スポーツメンタルトレーニング（SMT）指導士全国研修会

2024年9月27日（金）

テーマ『 多様な他者の眼差しから学ぶ 』のご案内

\* 午後のプログラムは、原則＜資格取得者＞はセッション2-1 およびセッション3、＜資格未取得者＞はセッション2-2 およびセッション4に参加してください。

・ 9:45 - 10:15 受付（4階 M401&402 前）

<午前>

・ 10:15 - 10:30 委員長挨拶 4階 M401&402

・ 10:30 - 12:00 4階 M401&402

セッション1 講演 : 「SMT指導士と精神科医の連携と協働を考える」

司会 : 内田若希先生（九州大学）

講師 : 秋葉茂季先生（国士舘大学）・山本宏明先生（北里大学）

SMT指導士資格委員会では、日本スポーツ精神医学会とのリファーマップの作成に着手しています。今後、両者の連携と協働を目指した関係を構築する上で、「そもそも、精神科医の仕事（職域）は何か」「どのように連携や協働が可能なのか」について考えてみたいと思います。そこで本講演では、サポート活動において連携や協働を実践している秋葉茂季先生と山本宏明先生に、実際の事例を元にご講演いただきます。

<午後>

・ 13:00 - 14:00 2-1は3階 M303、2-2は4階 M401&402

セッション2-1 & 2-2 レクチャー（60分）

① 2-1（資格取得者限定）: 司会・話題提供者 坂中尚哉先生（香川大学）

テーマ「SMTの心理サポート実践におけるスーパーヴィジョン学の構築に向けて」

② 2-2（原則、資格未取得者を対象）: 司会・話題提供者 平木貴子先生（日本大学）

テーマ「事例を通じた自己研鑽について考えるースーパーヴァイズ・事例検討の体験からー」

スポーツ科学をバックグラウンドとして SMT 指導士資格を取得した場合、スーパーヴァイザー (SV) や事例検討に馴染みがないことも多いのではないのでしょうか。しかし、SV や事例検討は、心理臨床等の個別カウンセリングに特化したものではなく、チーム (集団) に対するスキルトレーニングにおいても重要な研鑽の場となります。なぜなら、個別カウンセリングも、集団へのサポートも「その時」「その場」で生じている人・環境・時間のダイナミックな変化のプロセスを大切にしているからです。SV や事例検討は、そのサポート実践が「他者 (スーパーヴァイザーや参加者) の目からはどう見えるのか」を知ることができる貴重な場となります。本レクチャーでは、SV や事例検討について、資格取得者および資格未取得者それぞれが留意したい事項について考えていきます。

・ 14:10 - 16:40 3階 M303

セッション3 事例検討 (資格取得者限定) : 「未定 (女性アスリートに関する内容)」

司会: 小谷克彦先生 (北海道教育大学)

発表者: 畝中智志先生 (北翔大学)

指定討論者: 坂中尚哉先生 (香川大学)

指定討論者: 直井愛里先生 (近畿大学)

・ 14:10 - 16:25 (原則、資格未取得者を対象; 休憩時間を含む) 4階 M401&402

セッション4 ワークショップ : 「架空事例に学ぶ、見立てと進め方ー見えているもの・見えていないものに気づくー」

司会・話題提供者: 奥野真由先生 (久留米大学)

コメンテーター: 武田大輔先生 (東海大学)

セッション2-2のレクチャーで、他者 (スーパーヴァイザーや参加者) の目からはどう見えるのかを知る重要性について理解した後、本ワークショップでは、奥野真由先生に架空事例を提示いただき、その事例検討 (グループ討論) を通して体験的に学びを深めることを目指します。本ワークショップでは、事例の見立てやサポートの方向性の「正解」「不正解」を探ることが目的ではなく、「参加者一人ひとりの目からはどう見えるのか」を考え、共有するプロセスを大事にします。よって、事例検討未経験の方や、サポートケースを持っていない方も安心してご参加ください。最後に、武田大輔先生にコメントをいただきます。